



たく魂♪(詫間魂)

閉会式の講評で、外部審査員の佐藤先生から「みんなの顔を見て優しい気持ちになりました」というコメントをいただきました。歌いきった満足感が表情に表れていた証です。また、すべての学級を指導してくださった音楽科の南先生からも、「感動しました」という感想がありました。学校閉鎖後わずか1週間、よくそこまでの歌に仕上げてくださいました。生徒たちのパワーを改めて感じました。まさしく「詫間魂」です。

9月、音楽の時間に合唱コンクールに向けての練習がスタートしました。体育祭が終わった9月30日、映画「うた魂♪」を見て、合唱コンクールへの思いがより強くなりました。10月13日、昼休みと放課後の練習が始まり、パート練習がより熱を帯びてきました。そして、このまま一気に盛り上がるはずでした。

ところが、インフルエンザという大敵が現れ、19日からの1週間は全く練習できない羽目になってしまいました。生徒たちが再び登校してきたのは、合唱コンクールまであと5日と迫った26日。十分な音程もとれないまま迎えたリハーサルは、悲惨なものでした。

しかし、ここからの追い込みはさすがでした。7時半を過ぎて登校する生徒はほとんどなく、早朝練習に対する意識の高さを感じました。早朝、昼休み、放課後の練習は、みんなの心をひとつにしていきました。

10月31日、保護者や地域の方の関心も高く、会場のマリソウエーブはほぼ満席になりました。各クラスの合唱だけでなく、2年選択合唱『手紙』『地球の詩』や3年全員合唱『YELL』も聞き応えがありました。先生方も体育祭の長縄跳びの悔しさを晴らすべく、練習を積み重ねた『あなたに』で、大人のうまさを見せつけたつもりです。途中で手拍子もいただきました。実は、アンコールも用意していたのですが…

そして、結果発表。湧き上がった歓声、弾ける笑顔、その一方で流したくやし涙……。笑顔や涙は一生懸命頑張った人だけに与えられるものです。

「とてもよかったです。来年も必ず来ます」「去年と変わらないすばらしい歌声でした。ありがとうございました」など、帰りに保護者や地域の方々から温かい言葉をいただきました。こんなすばらしい生徒たちと共に合唱コンクールができたことを誇りに思います。またひとつ新しい「記念日」ができました。

- ★1年合唱…金賞：1年1組『明日へ』、最優秀指揮者賞：清水あかね、最優秀伴奏者賞：田尾 皆佳
- ★2年合唱…金賞：2年3組『心の瞳』、最優秀指揮者賞：藤田さくら、最優秀伴奏者賞：上村 美加
- ★3年合唱…金賞：3年2組『消えた八月』、最優秀指揮者賞：三宅 有沙、最優秀伴奏者賞：藤田 夏美

